

広島空港

【実施主体：個社】

広島空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航引き上げ交渉を実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として委託先との契約金額について、順次、見直しを進めている。	
	受託料の引き上げ	受託料の引き上げ	処遇改善の実施（賃上げ9,400円、通勤費・住宅手当の引き上げ）
	受託料金の引き上げ	令和5年度の保安検査受託料の引き上げは小幅だったが、令和6年度は更なる引き上げを実施。	
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定等）	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入を検討中。	
	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
	最低保証料金の引き上げ		
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
	搭載部門に女性職員の採用	4年ぶりに搭載部門に女性職員を採用した。	現在、女性職員3名。
	女性職員採用準備	女性職員用の更衣室確保のため、事務所の改修工事を実施	女子更衣室改修工事が完了し受け入れ態勢が整った。女性職員採用強化中。
	手当の拡大	物価上昇に伴い検定手当を増額した。	
【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
	職員数や労働時間の定点的な情報収集	職員の負担を定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。	チャーター便、新規受託の際には負荷が高止まりしないようハンドリング、運航時間を工夫することで抑止に努めている。

【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	職員数、残業時間等を委託元と共有	採用機会の増加、残業減少に対する取り組み等	残業は順調に減少している。
	事務作業の軽減	事務作業の軽減のため、現状（作成書類、報告方法等）について全て確認し、各提出書類の要否の判断や簡素化、複数の書類の1本化等を実施し効率化を図った。	事務作業126件中38件について処理方法の変更や廃止を行った。改善した事務作業について作成や処理にかかる時間は1、2分～30分と様々だが、その時間を休憩や次の時間の準備に充てることができた。同時にストレス軽減にもつながった。
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	正社員領域、派遣領域の見直し	復便、増便に伴う職員負担増の軽減のため、正社員領域の見直しを実施。一部業務については、アルバイト・派遣社員等も活用し業務量（職員負担）を調整。	可能な場合は早期就業による契約社員採用で人財を確保している。
	職員数、残業時間等を委託元と共有	残業、有休消化率等を階層別に集計	
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開。	<u>(参考) 採用専用サイト</u>
	通年、中途採用の実施	応募者1人でも採用試験の実施	広島県外出身者の採用数増。
	広島空港合同企業説明会へ参加	採用については、本社が強化を行っているが、現地で出来ることとして、広島国際空港(株)様の合同企業説明会に参加し、採用強化を図っている。	広島空港合同企業説明会より、2024年4月1名 広島空港での採用が決定した。
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	同業他社との教育課程の調整	ランプ領域では地方空港における両社共通の委託先のグラハン作業資格・教育の相互承認、作業手順の共通化について議論を進め、車両操作資格については2024年4月より、可能なものから相互承認を実施していく。	同一の委託先、可能性がある空港のみ。 ※広島は現時点では適用外
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港からの応援者を派遣することでリソース不足を解消。	生産体制が整うまで、管理職一般職の上位職を出向という長い期間で派遣。
	他空港からの支援者、出向者の受け入れ	出向者をR5.2,3,4月より各月1名、1年間の出向受け入れ	

【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	ワンマン用脚立の導入	A321の作業は2人で実施していたが、ワンマン用の脚立を導入することで、人員繰りの効率化を図った。（現在、国内線のみ）	ワンマン化にすることで、1人別の作業にアサインすることができ効率化が図れている。また、課題であった国際線用の脚立を2台購入した。（2024年3月配備）
	給油車両の老朽化	給油車の状況を見ながら、年単位で入れ替えを計画している。	課題 給油車の入れ替えを計画しているが、価格の高騰や納期の遅れにより給油車の老朽化に対して入れ替えが進まない。
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備	自律的なキャリア構築に向けた成長・学びの場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・公募による社内外異動の活性化。 ・グループ内外へ出向・派遣の拡大。 	社としての取り組み。広島では旅客の業務委託先において会社を超えた年単位の出向を3名受入（羽田、伊丹より）
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。	
	ポケットークの配備	旅客、搭載、オペレーション部門にポケットークを配備。	
【中期】 特定技能制度の積極的な活用	人財ポートフォリオの形成・多様な人財の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> ・JALグループ内での特定技能の活躍の場を拡大。 ・外国人材の受け入れ体制、規程の充実。 	

【実施主体：空港会社等】

広島空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 空港内の労働環境の改善</p>	<p>グラハンスタッフ向け休憩室内に置き型式社食（冷蔵食品）を導入</p>	<p>グラハン休憩室に置き型式社食『オフィスおかん』を導入。 多忙なグラハンスタッフが休憩中にさっと手に取ることができる軽食や、栄養バランスにも優れた複数のおかずを手に取りやすい価格で販売。食事内容と環境の改善を図る。</p>	
<p>【短期】 空港の知名度を生かした採用活動</p>	<p>広島空港合同企業研究・見学会の実施</p>	<p>空港会社が主体となっていく、空港全体の合同企業研究・見学会を定期的に行っている。グラハン会社・保安検査会社など合計5社が参加し、具体的な仕事内容の紹介や現場見学などを盛り込んだプログラム。</p>	
	<p>広島空港内の求人をもとめて掲載した『広島空港採用サイト』を展開</p>	<p>2022年4月にリリースした「広島空港採用サイト」の活用。グラハン支援の一環として、空港事業者と協力し、採用情報を随時更新している。</p>	
	<p>おしごと相談会</p>	<p>「おしごとミュージアム」にて求職者の個別相談を月1回程度開催。空港で仕事をしたいと考えているが、応募まで至らなかった方への一押しに繋がっている。</p>	<p>昨年の相談会延べ人数は約30名 採用実績も出ているため、継続的に実施を検討</p>
	<p>学内説明会</p>	<p>大学、専門学校など、25年新卒学生を対象にした学内企業説明会に広島空港仕事紹介として参加</p>	<p>学校に訪問し、参加した学生が広島空港イベントにも参加</p>
	<p>大学 空港見学ツアー開催</p>	<p>『1日で知れる！学べる！空港の仕事』を開催。空港仕事紹介からターミナル見学、機内食試食などを実施</p>	<p>24名の学生が参加</p>
<p>【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>WGメンバーへ広島空港合同採用サイト、合同企業説明会実施の案内。</p>	<p>グラハン会社・保安検査会社が個社だけの採用活動には限界があるため、空港会社主体の合同企業説明会にWGメンバーへ声をかけ、採用活動の一助となるよう働きかけを行っている。</p>	

【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）			

【実施主体：地方自治体】

広島空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理 等）</p>	<p>空港WG内での共有</p>	<p>国交省HPにて公表されたベストプラクティスを空港WG内で共有。</p>	
<p>【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）</p>	<p>空港内事業者（空港運営会社、グランドハンドリング会社、保安検査会社、航空給油会社等）の仕事説明見学会において、航空保安に関する業務紹介を実施</p>	<p>空港開始やが主催する広島空港合同企業説明見学会（7/8開催）において、航空管制官及び航空管制技術官の業務紹介等の資料を配付。（第二回：9/30開催予定） 今後は、従事者向け管制塔見学等の実施に向けた調整を実施。</p>	
	<p>「管制官お仕事紹介」の実施</p>	<p>地元小学生を対象に管制官の業務紹介を実施。（9/8開催） 「ひろしま空の日2023」（10/29開催予定）において、小中高校生向けに管制官のお仕事講座を予定。</p>	
<p>【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助 等）</p>	<p>広島空港グラハンWGにおいて、航空会社の搭乗口案内業務の効率化を検討</p>	<p>航空会社の搭乗口における旅客案内業務の効率化策として、広島空港グラハンWG事務局から提案のあったデジタルサイネージの設置について賛同。</p>	
<p>【短期】 各主体による取組の重要性の発信</p>	<p>ありがとうポスターの周知及び掲示</p>	<p>公表された「持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集」及び「ありがとうポスター」について、取組の目的を職員に共有。また、「ありがとう」ポスターを庁舎内に掲示。</p>	
	<p>「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」の周知</p>	<p>広島空港利用者利便向上協議会（6/15開催）において、国、地方自治体、空港運営者、航空会社、商工会議所等の幹事会メンバーと問題意識及び取組の重要性を共有。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>広島空港グラハンWG等会議体の活用</p>	<p>関係各社が抱える課題の共有及び対策検討のため、広島空港グラハンWG等の会議体の活用について、認識を一致。</p>	

<p>【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験</p>	<p>他空港の導入事例等の横展開</p>	<p>空港WGにおいて航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。</p>	
<p>【中期】 更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等）</p>			